



平成23年
第3回定例会



第10回
Iのまち いなぎ市民祭



平成22年度決算を認定 — 歳出総額 51.7 億円 —

第3回定例会の概要

市議会は、平成23年第3回定例会を9月1日から9月30日までの30日間にわたって開催しました。

この定例会では、平成22年度一般・特別・病院事業会計決算9件をはじめ、稲城市市税条例の一部を改正する条例、稲城市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例、平成23年度東京都稲城市一般会計補正予算（第5号）・国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）・土地区画整理事業特別会計補正予算（第1号）・介護保険特別会計補正予算（第1号）・病院事業会計補正予算（第2号）、稲城市副市長の選任、稲城市固定資産評価審査委員会委員の選任、稲城市教育委員会委員の任命、稲城市道路線の廃止についてなど23件の議案を審議し、決算9件を認定し、9件を原案のとおり可決し、5件を同意しました。

市民から提出された陳情5件は、一部採択1件、趣旨採択2件、不採択2件という結果でした。

また、9月7日から4日間にわたり18人の議員が市政について81項目の一般質問を行いました。

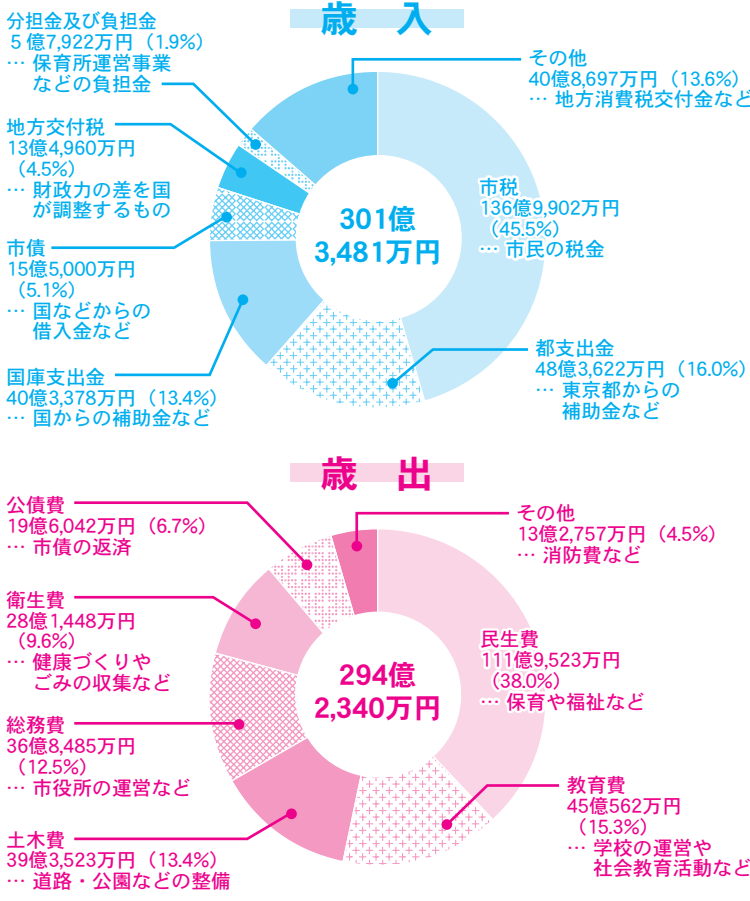
議 会 日 誌

7月	8月	9月
6日 福祉文教委員会	4日 建設環境委員会	1日 代表者会議
13日 総務委員会	5日 建設環境委員会	31日 本会議
20日 福祉文教委員会	9日 総務委員会	30日 行政報告、議案説明、質疑、補正予算特別委員会設置、付託
22日 議会運営委員会	22日 福祉文教委員会	25日 代表者会議
	23日 代表者会議	22日 議会運営委員会
	25日 議会運営委員会	9日 本会議
	30日 福祉文教委員会	8日 一般質問
	31日 建設環境委員会	7日 本会議
		7日 一般質問
		7日 本会議
		7日 一般質問
		8日 本会議
		8日 一般質問
		9日 本会議
		9日 一般質問
		12日 議会運営委員会
		13日 代表者会議
		13日 総務委員会
		14日 福祉文教委員会
		15日 建設環境委員会
		16日 決算特別委員会
		20日 決算特別委員会
		21日 議会運営委員会
		30日 本会議
		30日 議案、陳情委員会報告、討論、採決

○紙面の紹介

・定例会の議案内容	2 P
・委員会の審査状況	3 P
・一般質問（18人）	4 P / 5 P
・議案議決結果（会派別、議員別）、陳情の結果	6 P

一般会計決算の内訳



各会計決算額表 (単位:千円)

会計名	歳入	歳出
一般会計	30,134,805,372	29,423,399,774
国民健康保険事業特別会計	6,968,169,031	6,780,680,464
土地区画整理事業特別会計	2,431,877,459	2,088,578,860
下水道事業特別会計	1,995,010,565	1,991,763,378
老人保健特別会計	2,100,469	2,100,469
介護保険特別会計	2,891,993,511	2,787,612,720
後期高齢者医療特別会計	923,103,221	923,103,221
病院事業会計	7,243,635,912	7,265,791,103
受託水道事業特別会計	441,618,055	441,618,055
合計	53,032,313,595	51,704,648,044

平成22年度各会計決算を認定 歳出総額517億円

市議会は、平成22年度一般・特別・病院事業会計の決算9件を、9月30日の本会議で認定しました。本決算議案は、決算特別委員会に付託し、9月16日・20日及び21日の3日間にわたり、詳細に審査しております。決算額は、9会計総額で歳入が530億3231万3595円、歳出が517億464万8044円となっております。

一般会計歳入 対前年度比 4・8%増

歳入のうち、一般財源は2・9%の増となりました。主な内容は、増加したものは地方交付税が15・5%の増、地方特例交付金が19・3%の増、いわゆる税連動交付金のうち、利子割交付金、配当割交付金及び自動車取得税交付金が増となりました。一方、減少したものは、景気低迷の影響による平均所得の減などにより、

一般会計歳出 対前年度比 5・0%増

個人市民税が6・6%の減、法人市民税が13・5%の減となったことから市税が2・7%の減、また地方譲与税が3・5%の減、税連動交付金のうち、ゴルフ場利用税交付金などが減となりました。一方、特定財源は7・3%の増となりました。主な内容は、増加したものは、子ども手当負担金、生活保護費負担金の増などにより国庫支出金が62・6%の増、道路改良事業費補助金、介護基盤緊急整備等特別対策事業補助金の増

決算特別委員会委員

(委員長 副委員長) 大久保 もりひさ 坂田 たけふみ 梶浦 みさこ 渡辺 たつや 川島 やすゆき 荒井 健 岡田 まなぶ 中田 中 井川 まちこ 原田 悦夫

条例の一部改正

市議会は、条例の一部改正について、9月30日の本会議で審議し、原案のとおり可決しました。主な内容は次のとおりです。

稲城市市税条例等の一部を改正

改正の主な内容は、地方税法等の一部を改正する法律の施行に伴い、市税の納税管理人を定めなかった場合に係る過料、不申告に関する過料等について、その上限額を3万円から10万円に改めるとともに、所要の経過措置を講じるものです。

稲城市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正

改正の主な内容は、災害弔慰金の支給等に関する法律の改正に伴い、災害弔慰金の支給対象となる遺族の範囲に、死亡した者に係る配偶者、子、父母、孫又は祖父母のいずれもが存しない場合に限り、死亡当時、死亡した者と同居し、

又は生計を同じくしていた兄弟姉妹が加わるため、その順位を定めるものです。

この条例は公布の日から施行され、平成23年3月11日以降に生じた災害により死亡した市民に係る災害弔慰金の支給について適用されます。

副市長に 伊藤 登氏

市議会は、平成23年9月30日をもって副市長田野倉秀雄氏の任期が満了することに伴い、後任者として伊藤登氏を選任することについて9月6日の本会議で同意しました。

教育委員会委員に 伊勢川 岩根氏

市議会は、平成23年9月30日をもって稲城市教育委員会委員伊勢川岩根氏の任期が満了することに伴い、引き続き同氏を選任することについて9月6日の本会議で同意しました。

固定資産 評価審査委員会 委員の選任同意

市議会は、平成23年10月4日をもって稲城市固定資産評価審査委員会委員の稲葉勝巳氏及び岩藤真実氏の任期が満了することに伴い、引き続き両氏を選任することについて、また、同じく10月4日をもって任期が満了する増田尚氏については後任者として草川健氏を選任することについて、9月6日の本会議で同意しました。

補正予算可決

市議会は、平成23年度東京都稲城市一般会計補正予算第

5号)、国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)、土地区画整理事業特別会計補正予算(第1号)、介護保険特別会計補正予算(第1号)及び病院事業会計補正予算(第2号)を9月12日の本会議で審議し、原案のとおり可決しました。

このうち、一般会計補正予算は、歳入歳出とも1億9291万8千円を増額し、予算総額を321億8518万9千円とするものです。補正の主な内容は、市制施行40周年記念事業として、大河原邦男氏が作成した稲城市のイメージキャラクターの商標登録及び着ぐるみの購入に係る経費の計上、稲城市福祉センターの老朽化に伴い、電話設備などを改修するための工事請負費の計上、保育所の待機児童解消に向けた松葉保育園の建てかえ費用に対する民間保育所振興費補助金の増額、東日本大震災により亡くなられた稲城市民の遺族に対する災害弔慰金の計上、建設中の(仮称)健康プラザの節電対策として、照明器具の一部を高効率型に変更するための工事請負費の増額、土地区画整理事業の進展に伴う土地区画整理事業特別会計繰出金の増額、移動系防災行政無線を公立保育園及び中島ゆうし保育園、子ども家庭支援センターなどに配置するための経費の計上、ふれんど平尾の2階以上の利用に向けた改修工事設計等委託料の計上、平成22年度の事業実績確定による国及び都支出金の返還金の計上などを行うものです。

国民健康保険事業特別会計補正予算は、歳入歳出とも32千円とするものです。903万6千円を増額し、予算総額を72億4758万7千円とするものです。補正の主な内容は、平成22年度の退職者医療療養給付費等交付金及び国民健康保険出産育児一時金補助金の実績確定に伴い、交付額の超過分について返還金を増額するものです。土地区画整理事業特別会計補正予算は、歳入歳出とも14億7861万7千円を増額し、予算総額を43億7906万2千円とするものです。補正の主な内容は、稲城榎戸地区事業費に係る委託料を2億6090万7千円、稲城矢野口駅周辺地区事業費に係る委託料を4億1925万7千円、稲城稲城長沼駅周辺地区事業費に係る委託料を4億9591万8千円、稲城南多摩駅周辺地区事業費に係る委託料を3億253万5千円それぞれ増額するものです。介護保険事業特別会計補正予算は、歳入歳出それぞれ1億1068万2千円を追加し、総額を38億987万円とするものです。補正の主な内容は、高額医療療養費サービス費などとして、介護給付費を730万円、介護給付費準備基金の積立金として、基金積立金を9028万円、前年度介護給付費などの確定に伴う返還金として、諸支出金を1310万2千円計上するものです。病院事業会計補正予算は、建設中の(仮称)健康プラザ及び健診・外来棟の節電対策として、照明器具を高効率型に契約変更するため、資本的支出予定額を664万4千円増額し、総額26億9015万2千円とするものです。

委員会の審査から

平成23年第2回定例会終了後から平成23年第3回定例会までの閉会中及び会期中に開催した常任・議会運営・特別委員会での審査・調査の概要は次のとおりです。

総務委員会

議案4件を審査しました。稲城市市税条例等の一部を改正する条例は、4件の質疑があり、主なものは次のとおりです。

問 寄附金控除の実績は。変更内容や控除の手続はどう広報するのか。

答 本年度当初予算で、市民税分の控除適用対象者は、110人。控除金額は、161万2千円。広報では、寄附金税額控除の適用下限が5千円から2千円へ変更されたこと、寄附の領収書などの保管を、確定申告時期での申告をお願いする。

討論はなく、採決の結果、挙手全員で原案のとおり可決されました。

特定所管事務調査事項として、墓地及びメモリアルホールの整備に関する検討状況など、第三次行政改革大綱及び実施計画の推進状況、駐車場有料化の考え方、市民活動ポイント制度の概要、稲城市財政白書（平成21年度決算）、協働のまちづくりに関する指針、特定所管事務調査事項の追加について調査しました。

福祉文教委員会

議案1件と陳情3件を審査

のとおりです。

問 現状の学校給食の安全性に対する市の認識は。

答 厚生労働省が定める暫定規制値以下の食材を使用しているため、安全性が保たれていると考えている。

問 汚染された可能性のある地域で生産された食材は学校給食に使用しないよう努力すべきではないか。

答 風評被害を助長する形になるので、検討しかねる。

問 障害の種類による格差はあるのか。

答 それぞれの障害に特性があることから、格差があるとは考えていない。特性に応じた支援をしている。

討論は反対が2件、賛成が1件あり、反対①比較的程度の精神障害者の方も原則1割負担、非課税世帯は負担なしとなる医療費負担の軽減制度があることを鑑みると、格差があることは考えられない。②国や都が今の財政状況の中で努力し検討していることを鑑みれば、格差のない状態で市のサービスが行われているのに対して、賛成は、同じ障害者手帳で、一方ではもらえないのは不条理。今精神科の療法のメインはレクリエーション治療だが、困窮で参加できない状況があり、総合的に見て賛成。—というものでした。

採決の結果、挙手少数で、不採択と決定されました。**放射能汚染による給食への対応策に関する陳情は、9件の質疑があり、主なものは次のとおりです。**

問 放射性物質の測定と、その数値の公表を継続的に行ってほしいとあるが、継続的とはどれぐらいと考えるか。測定は委託した方がいいのか。

答 学校、保育園は、年度内にもう1回行うことを継続と考えるが、緊急時は柔軟な対応をする。測定は委託の方向で考えている。

問 内部被曝が子供たちの健康に与える影響に対しての市の認識は。ほかの自治体の公表の状況は。

答 現在の稲城市の数値は、安全であると考えている。近隣の共同調理場を持つ14市では7市が、稲城市と同様に、子産産地を公表している。

討論は賛成が1件あり、小中学校、認可保育園の給食に使用する食材の放射性物質測定と、その数値の公表を継続的に行うことは、子供の内部被曝を極力避けるために、地方自治体に求められている。また、産地の公表で、親として子供を守るための対応、危機管理ができる。市として積極的にやるべきで賛成する。—というものでした。

ここで、放射線量計測を頻繁に実施するのは困難で、国や都の責任を明らかにする意味でも、市で対応できるのは学期ごとの計測であり、食材産地の事前公表は難しいことにも明らかになったが、子供の食の安全を願う思いは理解できるとの動議が提出され、採決の結果、挙手多数で、可決され、趣旨採択と決定しました。

福島第一原子力発電所の事故にともなう稲城市の子どもの安全対策に関する陳情は、7件の質疑があり、主なものは次のとおりです。

年度医療・介護周辺サービス産業創出調査事業「課題調査事業生活支援コーディネーターによる高齢者生活サポート事業」、稲城市立第一小学校校舎基本調査の結果等、南山東部土地区画整理事業地内における学校建設、第三次稲城市生涯学習推進計画の策定、小学生の放課後・学校休業日の居場所づくり（児童館・学童クラブ・放課後子ども教室）について調査しました。

建設環境委員会

議案1件と陳情2件を審査

稲城市道路線の廃止については、質疑、討論がなく、採決の結果、挙手全員で、原案のとおり可決されました。

ランド坂地区住民の安全と生命を守る避難通路と避難場所の設置に関する陳情は、9件の質疑があり、主なものは次のとおりです。

問 防災マップにある避難場所は下方にあるがどうか。

答 上方に公的施設はなく、現状で避難通路及び避難場所を上方に設定するのは困難。現状の地形などから来る災害の危険性は認識している。総合的に土地区画整理事業を進める中で問題解消が図れる。

討論は反対が1件、賛成が1件あり、反対は、陳情では、「南山開発によって災害発生機会が一層増すことになる」といわれているが、これでは対策を講じられないことになり、この地域の避難場所設置がさらに遅くなることを危惧し、反対する。賛成は、危険性をまず高盛り土を見直し、どのように安全を確保するかをぜひ考えてほしいと、賛成する。—というものでした。

採決の結果、挙手少数で不採択と決定しました。

をぜひ考えてほしいと、賛成する。—というものでした。

陳情書「押立、矢野口の境にある児童公園（トンボ池・通称ドカン公園）を存続してください」は、6件の質疑があり、主なものは次のとおりです。

問 「市として買い上げるか、地主の方にもう一度折衝するか、子供たちのために存続できるように努力していただきたい」陳情する」とあるが、市の認識は。存続する上での課題は何か。

答 利用者が多い場所であり、存続してお借りたい。土地所有者の事情により、お返しするという課題がある。

討論は、賛成が1件あり、この地域では、地主の好意で公園などを確保しており、ニータウンに比べ10分の1ほどしか公園がない。その点で存続できるように賛成する。—というものでした。

ここで、採択したいが、誤った部分があるので採択できない。ちびっこ広場の問題に対応できる基準などを今後つくり、地主にも、このまま存続していただけるようお願いします。—というものでした。

特定所管事務調査事項として、都営稲城第2アパート屋上笠木落下事故、稲城市景観色彩ガイドライン（案）、都市計画公園・緑地の整備方針の改定、南山東部土地区画整理事業の事業計画変更、長峰地区遊休地、北多摩一号水再生センターと南多摩水再生セ

議会運営委員会

特定担任事務調査事項として、次定例会等の会期等議会運営、議会運営の効率化について調査をしました。

平成22年度東京都稲城市一般会計歳入歳出決算は、90件の質疑があり、討論は反対が1件あり、今足りない認可保育園や特別養護老人ホームの整備などに財源を振り向ける姿勢が必要であり、決算には反対する。—というものでした。

採決の結果、挙手多数で認定されました。

補正予算特別委員会

議案5件を審査しました。

東京都稲城市一般会計補正予算（第5号）は、22件の質疑があり、討論はなく、採決の結果、挙手全員で、原案のとおり可決されました。

東京都稲城市国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）は、1件の質疑があり、討論はなく、採決の結果、挙手全員で、原案のとおり可決されました。

東京都稲城市土地区画整理事業特別会計補正予算（第1号）は、3件の質疑があり、討論はなく、採決の結果、挙手全員で、原案のとおり可決されました。

東京都稲城市介護保険特別会計補正予算（第1号）は、1件の質疑があり、討論はなく、採決の結果、挙手全員で、原案のとおり可決されました。

決算特別委員会

議案9件を審査しました。

平成22年度東京都稲城市一般会計歳入歳出決算は、6件の質疑があり、討論はなく、採決の結果、挙手全員で認定されました。

採決の結果、稲城市土地区画整理事業特別会計・下水道事業特別会計・受託水道事業特別会計歳入歳出決算の3件を一括審議し、2件の質疑があり、討論は、反対が1件あり、開発最優先で進んでいくという方は、緑を大事にしてほしいという市民の願いと違うのではないかと考えるので反対。—というものでした。

平成22年度東京都稲城市国民健康保険事業特別会計・老人保健特別会計・後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の3件を一括審議し、1件の質疑があり、討論はなく、採決の結果、挙手全員で認定されました。

平成22年度東京都稲城市土地区画整理事業特別会計・下水道事業特別会計・受託水道事業特別会計歳入歳出決算の3件を一括審議し、2件の質疑があり、討論は、反対が1件あり、開発最優先で進んでいくという方は、緑を大事にしてほしいという市民の願いと違うのではないかと考えるので反対。—というものでした。

採決の結果、稲城市土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算は、挙手多数で、下水道事業特別会計歳入歳出決算及び受託水道事業特別会計歳入歳出決算は、挙手全員で認定されました。

平成22年度東京都稲城市病院事業会計決算は、6件の質疑があり、討論はなく、採決の結果、挙手全員で認定されました。

めざし一般質問

本定例会の9月7日から4日間にわたり、18人の議員が市政について81項目の一般質問を行いました。その要旨は次のとおりです。紙面の都合上、1人1項目のみ掲載しています。

市内公園・道路の 夜間電灯など について 鈴木議員

問 公園や道路での必要な街灯の維持・設置は、市民が安全に暮らす観点から必要不可欠と考えるが、節電対策の中、市の見解は。

答 公園内は原則すべて消灯、道路は消灯または隔本消灯している。街灯の維持・設置は、震災前と同様に必要なことと認識しており、今後も適切な維持管理に努めていく。

問 公園内の電灯の消灯は、市民の安全な暮らしを脅かす。節電計画を見直し、公園の電灯をすべて再点灯できないか。

答 再度利用状況などを確認し、必要な箇所については再点灯していく。

問 若葉台駅周辺のエスカ

レーターは、高齢者の安全面が懸念されるので、早期再稼働すべきと考えるが、実施し再稼働していきたい。

答 安全点検などの確認を（その他、稲城市防災に関連する市の取り組み、市内丘陵部の土地区画整理事業、市ホームページ・広報紙での市民参加呼びかけ手法）

稲城らしい 学校図書館教育 について 大久保議員

問 稲城らしい、特色ある学校図書館教育について、市の見解は。

答 多くの保護者や地域の方から読み聞かせボランティアや本の整理・補修などに支援をいただいている。今後も地域との関係を大切にして、学校図書館司書の専門性を活用した図書館教育が実施でき

災害時の 避難所運営 について 中村議員

問 避難所の運営体制に女性の責任者を位置付けることが必要と考えるが、市の見解は。

答 男性と女性の責任者を位置付け、それぞれの役割分担などを決め、女性リーダー

れば、稲城市ならではの学校図書館教育が構築できると考える。

問 学校図書館教育の位置づけは、今後の稲城の教育の方向を決定するものである。市の取り組みは。

答 稲城の誇れる人と人との絆、人間力、地域力を学校図書館の現場にも活用できるよう教育委員会を支援したい。（その他、発達障がい者（児）の早期発見・療育から自立・就労までの一貫した支援、学校教育を支援する組織の強化、既成市街地の土地区画整理事業地以外の地域における公園整備）

問 避難所運営マニュアルの策定についての考えは。

答 地域防災計画の見直しと共に、避難所としての統一した内容を示す避難所運営ガイドラインを策定していく。（その他、災害時要援護者の避難支援対策、防災対策としての水の確保、北緑地公園駐車場の有料化）



学校図書館

問 ホームページの改善に

問 市立病院の給食の食材

問 ブックスタート事業の市の取り組み現状は。

問 一日も早い実現に向けて取り組んでもらいたい

問 若葉台駅周辺における夜間のバイク騒音について、市の対策は。

問 若葉台地区の安全安心なまちづくりについて

答 平成22年度は6万1267件で、閲覧状況は、近隣市と同じような状況であり、毎年増加している。改善要望は、「施設予約ができるようにしてほしい」、「検索エンジンの強化」、「メールで各課へ問い合わせたい」などがある。

答 トップページのレイアウト、完全英語版などへの対応、サイト内検索機能の強化、行事カレンダー機能の導入や災害時に特化した画面表示などを検討していきたい。

答 ホームページの改善点は、

答 小中学校の点検整備を早急にすべきではないか。

答 7月27日に食材の放射能測定を実施し、輸入食品を除く野菜7種類と牛乳については、セシウム134・137、ヨウ素131の分析試験を行った結果、不検出だった。

答 現物支給は、一定の購入金額に限られ、絵本選択の幅が狭くなってしまふ。補助率や選択幅の拡大、事業の見直しを検討する。

問 ライフライン・通信手段などの防災機能の強化が重要ではないか。

答 今回の震災を教訓に、早期に対応できる防災対策として、防災備蓄機材の見直しに取り組みしており、飲料水やトイレ、通信手段などの充実については順次強化していく。

問 ブックスタート事業の市の取り組み現状は。

問 一日も早い実現に向けて取り組んでもらいたい

問 若葉台地区の安全安心なまちづくりについて

問 若葉台地区の安全安心なまちづくりについて

問 ホームページのアクセ

問 小中学校の点検整備を

問 7月6日に府中市との協定を締結したところで、長年にわたり、多くの市民が待ち望んでいるので、一日も早い実現に向けて、作業を進めたい。

問 若葉台地区の安全安心なまちづくりについて

問 若葉台地区の安全安心なまちづくりについて

問 若葉台地区の安全安心なまちづくりについて

問 ホームページのアクセ

問 小中学校の点検整備を

問 7月6日に府中市との協定を締結したところで、長年にわたり、多くの市民が待ち望んでいるので、一日も早い実現に向けて、作業を進めたい。

問 若葉台地区の安全安心なまちづくりについて

問 若葉台地区の安全安心なまちづくりについて

問 若葉台地区の安全安心なまちづくりについて

問 ホームページのアクセ

問 小中学校の点検整備を

問 7月6日に府中市との協定を締結したところで、長年にわたり、多くの市民が待ち望んでいるので、一日も早い実現に向けて、作業を進めたい。

問 若葉台地区の安全安心なまちづくりについて

問 若葉台地区の安全安心なまちづくりについて

問 若葉台地区の安全安心なまちづくりについて

問 ホームページのアクセ

問 小中学校の点検整備を

問 7月6日に府中市との協定を締結したところで、長年にわたり、多くの市民が待ち望んでいるので、一日も早い実現に向けて、作業を進めたい。

問 若葉台地区の安全安心なまちづくりについて

問 若葉台地区の安全安心なまちづくりについて

問 若葉台地区の安全安心なまちづくりについて

問 ホームページのアクセ

問 小中学校の点検整備を

問 7月6日に府中市との協定を締結したところで、長年にわたり、多くの市民が待ち望んでいるので、一日も早い実現に向けて、作業を進めたい。

問 若葉台地区の安全安心なまちづくりについて

問 若葉台地区の安全安心なまちづくりについて

問 若葉台地区の安全安心なまちづくりについて

問 ホームページのアクセ

問 小中学校の点検整備を

問 7月6日に府中市との協定を締結したところで、長年にわたり、多くの市民が待ち望んでいるので、一日も早い実現に向けて、作業を進めたい。

問 若葉台地区の安全安心なまちづくりについて

問 若葉台地区の安全安心なまちづくりについて

問 若葉台地区の安全安心なまちづくりについて

問 ホームページのアクセ

問 小中学校の点検整備を

問 7月6日に府中市との協定を締結したところで、長年にわたり、多くの市民が待ち望んでいるので、一日も早い実現に向けて、作業を進めたい。

問 若葉台地区の安全安心なまちづくりについて

問 若葉台地区の安全安心なまちづくりについて

問 若葉台地区の安全安心なまちづくりについて

問 ホームページのアクセ

問 小中学校の点検整備を

問 7月6日に府中市との協定を締結したところで、長年にわたり、多くの市民が待ち望んでいるので、一日も早い実現に向けて、作業を進めたい。

問 若葉台地区の安全安心なまちづくりについて

問 若葉台地区の安全安心なまちづくりについて

問 若葉台地区の安全安心なまちづくりについて

市民生活の向上



若葉台駅周辺 防犯パトロール

平成20年に783件、平成21年に727件、平成22年は699件に減少している。防犯意識の高揚、自治会や防犯ボランティアの方々などによる市民の活動の成果と考える。(その他、3/11大震災以降節電による施設の利用状況生活利便性の向上、市立保育園での保護者協力、適正な人事管理)

選挙制度について 原島議員

問 期日前投票について4年間の推移は。

答 期日前投票率は平成19年11・08%、平成23年14・48%、市議会議員選挙は平成19年14・75%、平成23年17・51%である。

問 夜間歩行中の女性に車上から声をかけている若者がいる。市の防犯対策は。

答 警察署と連携をとりパトロールを強化したい。不審な行動を見かけた場合、交番への連絡、110番通報をお願いしたい。

問 市内における犯罪発生件数は毎年減少しているが、その要因と過去の推移は。

答 平成19年に926件、枚処理が可能な投票用紙読み

問 今回の統一地方選挙で確定時間が早くなった要因は。

答 市議会議員選挙は、前回に比べて57分の短縮となった。要因は、1分間に480枚処理が可能な投票用紙読み

取り分類機やパソコンによる得票計算を導入したことなどと考えている。

問 投票時間の短縮による経費削減などの効果は大きいと考えるが、議論しているか。

答 国及び東京都から投票の機会はあるだけ広く与えるべきと指導されていることから、東京都管内では検討を行っているのが実情である。(その他、近隣の諸問題、上水道、多摩川水系の安全性向上)

「子ども・子育て新システム」の問題点について 岡田議員

問 政府が検討する「子ども・子育て新システム」ではなく、公的保育制度を拡充し、認可保育所をふやすことこそ必要と考えるが、認識は。

答 市の保育施策は、地域の保育ニーズを把握した上で、認可保育所に限定することなく、必要な対策を講じること

問 保育の質の低下が危惧されるが、認識は。

答 国は今後、良質な支援のための機能強化の検討や、地方公共団体との意見交換を行うとしており、その動向をよく見定めていく。

問 待機児童がいても保育園が足りない現状を、きちんと国に対して言うていく姿勢が大事だと思うが、考えは。

答 現時点では制度設計として認識しており、引き続き国の動向を見定めていく。(その他、「原発ゼロ」社会の実現、南山の墓地計画と市長の公約変更、節電対策をとりの中で市民サービスと市民生活の安全を守ること)

墓地・メモリアルホール整備計画の選挙公約の見直しについて 中山議員

問 なぜ選挙公約を変更することになったのか。

答 墓地・メモリアルホール整備計画は、昨年共同運営の協議が難航していたが、長年にわたり多くの市民から要望があり、1日も早い実現に向けて取り組む必要があると考え、公約に取り上げた。

問 公約を変更してまで事業推進に取り組んだ理由は。

答 懸案事項も合意でき、協定の締結により早期の計画実現が可能になることから、選挙公約の変更を判断した。

問 事業を1日も早く推進してほしいが、考えは。

答 一部事務組合を早期に設立し、1日も早い開設に向けて努めていく。(その他、坂浜・平尾地区のまちづくり、帰宅困難者のために開設した避難所の運営管理)

百村地区のまちづくりについて 坂田議員

問 地区計画を中心とした第四次長期総合計画の中で百村地区のまちづくりの進め方は。

答 新たなまちづくりの方針として、地区計画による建物誘導を進めた後、道路整備を行うなど町並み形成を図っていく。第四次長期総合計画においても「暮らしを支える道づくり」の必要性を整理している。地区計画による土地利用の誘導の状況を見て、道路整備などを検討したい。

問 百村地区の鶴川街道は歩車道の区別がなく、危険であり、歩行者の安全確保のためにも整備が必要であるが、市の見解は。

答 円滑な交通処理、稲城駅への安全な歩行者動線の確保の観点からも早期に整備を図る路線と考える。道路管理者である東京都に対し、引き

防災行政無線放送内容のツイッター配信について 梶浦議員

問 防災行政無線放送内容のツイッターでの配信について、市の見解は。

答 防災行政無線の放送内容を補完するため、災害情報をメールで確認できるよう取り組んでいる。この方法により緊急時の情報伝達を進めていきたい。ツイッター配信は

続きを申請したい。(その他、節電対策による熱中症被害、市内の公園利用、中央図書館利用者や一般通行人の安全対策)

行政改革について 渡辺(た)議員

問 民間知識活用導入は、行政改革推進や行政活性化に有効な手段である。専門技術職員の業務経験者採用についての考えは。

答 職員採用については、近年、民間企業の経験者など実質的な業務経験者が多く応募している。年齢制限の緩和などによる業務経験者の確保について、さらに研究する。

問 任期を持った公募契約による幹部職員の採用も、行政改善の起爆剤として期待され、他市で行われている。幹部職員の業務経験者一般公募についての考えは。

答 民間企業のノウハウや経営感覚は、行政運営にも重要で有意義であると認識している。経営感覚を身につける幹部職員の育成が大切と考えるので、職員研修を中心とした効果的な方法を研究する。(その他、稲城市立病院と健診外来棟、市民活動(社会貢献活動)ポイント制度、稲城市の広報・配布書面)

放射能測定について 岩佐議員

問 大気中の放射線量測定の結果に対する市の見解は。

答 5回の測定値を基にした年間換算推計は、国際放射線防護委員会の勧告による平常時の放射線量の指標1mSv以下の値となっている。

問 放射線量の測定は、今後どのようにしていくのか。

答 現在は、月2回だが、今後は、測定回数など、測定方法を検討しながら続けてい



放射線量測定器

きたい。

問 農作物や病院の給食食材の放射線量測定の結果に対する市の見解は。

答 農作物では、コマツナ、梨、ぶどう、かぼちゃの検査をし、検出限界値未満であり、市立病院の給食食材では、野菜7種類と牛乳の分析試験を行い、不検出であったので、安全性が確認されたと認識している。

(その他、熱中症対策、被災地支援、ニュータウン液状化の誤報、子育てコーデイナー、向陽台のまちづくり)

問 南山東部土地地区画整理事業の事業変更により高盛土の一部が稲城市に編入されるが、安全なまちづくりを進め

るといふ観点で、市の見解は。

答 将来にわたって安心・安全な宅地造成が行われるよう専門家などの指導も仰ぎながら、都とも連携し組合の指導に努めていく。

問 多摩川衛生組合における有害物焼却問題のその後の対応、東日本大震災の廃棄物受け入れの対応は、近隣自治会との交流や見学会・説明会などの定期的な開催に取り組み、東日本大震災の廃棄物の受け入れは、打診があった際には、環境省で作成された災害廃棄物の広域処理の推進に係るガイドラインにより受け入れの安全性が説明されるよう求めたい。(その他、「ふれあいの森」の使用停止問題、「ゆう芳の里」の移転問題に関する稲城市の対応、南山の墓地問題に対する市長の姿勢)

平成23年第3回定例会での審議結果（平成23年9月1日～9月30日）

Table with columns for 議員名, 議案等の名称, 議決結果, and party affiliations (新 政 会, 公 明 党, 日 本 共 産 党, 民 主 党, 起 風 会, 無 所 属). Rows include various budget items and administrative decisions.

＜稲城市議会議員 法定上限数30人 条例定数22人 現員22人＞

可=可決 否=否決 認=認定 同=同意 〇=賛成 ×=反対 議=議長 欠=欠席

インターネット 議会中継 (中継くん) 本会議の生中継、平成17年6月定例会以降の本会議の映像をご覧いただけます。

議員(候補者なども含む)からの寄付は、公職選挙法により、議員資格剥奪の罰則をもって禁止されています。また、個人に対しても、お祝い金(入学、卒業など)・贈り物(お歳暮、お中元など)を贈ることも禁じられています。

贈らない 求めない 受け取らない 議員(候補者なども含む)からの寄付は、公職選挙法により、議員資格剥奪の罰則をもって禁止されています。

不採択 〇ランド坂地区住民の安全と生命を守る避難通路と避難場所の設置に関する陳情 〇福祉手当に関する陳情

陳情の結果 一部採択 〇放射能汚染による給食への対応策に関する陳情 〇陳情書「押立、矢野口の境にある児童公園(トンボ池・通称ドカン公園)を存続してください」 〇福島第一原子力発電所の事故にともなう稲城市の子どもへの安全対策に関する陳情

「会議録の検索と閲覧」がご覧になれます インターネットの市議会ホームページで、会議録の検索と閲覧ができます。 ホームページアドレス http://asp.db-search.com/inagi-c/ ぜひご利用ください。

市議会を傍聴しませんか 次定例会は11月28日(月)開催予定です。 市議会では、皆様の傍聴をお待ちしています。手続きは、当日市役所4階の議会事務局で受け付けています。お気軽にお越しください。

なお、例外的に罰せられない行為として、議員本人が持参する結婚式のお祝いや香典があります。 市民の皆様のご理解をよろしくお願い申し上げます。